

# 科学技術館立体フルデジタルドームシアター

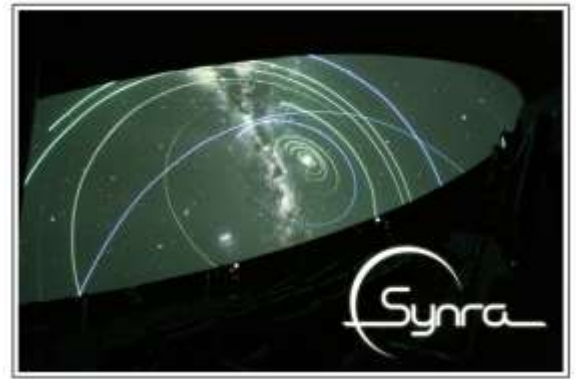


立体フルデジタルドーム「シンラドーム」が東京・北の丸公園の科学技術館にこの夏オープン!

## ■概要

財団法人 日本科学技術振興財団の運営する科学技術館(東京都千代田区)では、このたび4階B室「ユニバース」を全面改装し、常時公開施設でのインタラクティブな全天周立体投影としては日本初となる立体フルデジタルドームシアター「シンラドーム」を8月20日(水曜日)夕方(式典終了後)よりオープンします。

「ユニバース」は、独立行政法人 理化学研究所の出演により1996年4月にオープンした展示室で、研究用のデータを基に作られたコンピュータシミュレーションを用いてさまざまな現象を分かりやすく解説してきました。展示室内の大スクリーンは、2002年夏には立体視が可能な400インチスクリーンに更新され、今回のリニューアルで展示室全体にドームスクリーンを構築しました。「シンラドーム」と改められた展示室内いっばいに設けられた完全目地なしドームスクリーンと立体映像投影システムにより、圧倒的な没入感と迫力をもった、まったく新しい映像体験をお楽しみいただけます。



5階の7展示室とともに、理化学研究所による特色ある8展示室は、「遊び」・「創造」・「発見」の森「FOREST」(フォレスト)と呼ばれています。



ドーム前室には、研究用のスーパーコンピュータ MD GRAPE を動態展示しています。ハイ・パフォーマンス・コンピューティングの世界における最も権威のある賞の一つであるゴードン・ベル賞を受賞したこのコンピュータは、展示物として間近でご覧いただけるばかりでなく、ドーム内で上映される番組の生成やライブショーの上演に実際に使われています。



研究機関や大学などによる最新の科学研究の成果を可視化し、科学者が本物の道具を用いて本物の科学を語りかける、サイエンスビジュアルライゼーションを行う新しいドームシアターがこの夏誕生します。

## ■アクセス

東京メトロ東西線・同半蔵門線・都営地下鉄新宿線  
「九段下駅」(T-07・Z-06・S-05)

2番出口より徒歩約7分

東京メトロ東西線「竹橋駅」(T-08)

1b出口より徒歩約7分

シンラドーム内の上演番組は、科学技術館の入館料(大人600円、中・高校生400円、子供(4歳以上)250円、各種割引あり)のみでご覧いただけます。

## ■科学技術館





102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号

電話 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

<http://www.jsf.or.jp/>



■上映コンテンツ(予定)

<p><b>4D2U プロジェクト</b></p> <p>国立天文台、日本科学技術振興財団、その他諸機関による4次元デジタル宇宙プロジェクト(4D2Uプロジェクト)のコンテンツ。国立天文台三鷹キャンパス外では初の立体投影で、常時公開施設として初めての試みとなります。膨大な空間と時間のスケールを可視化します。</p> 	<p><b>コズミック・ディスカバリーズ</b></p> <p>スウェーデン・SCISS AB社による UniView と最新のリアルタイム可視化技術を駆使して作成された、見慣れた場所から宇宙の果てのサイズまでを容易に体感できる番組をお届けするオリジナルの宇宙映像作品。科学的に検証された最新の天文学研究の成果を紹介します。</p> 
<p><b>セントラルドグマ</b></p> <p>理化学研究所横浜研究所オミックス基盤研究領域(旧・ゲノム科学総合研究センター)による、人体の細胞の中で実際に起こっている現象の紹介。ゲノム(DNA)から情報を読み出し、そこに書かれた設計図通りにタンパク質を組み立てるダイナミックなプロセスを紹介します。</p> 	<p><b>マイクロ・プレゼンス</b></p> <p>STU 研究所・小檜山賢二氏と慶應義塾大学環境情報学部・森田正彦氏による、微細な構造の存在感を顕在化させた映像。日常ではほとんど意識されることのない昆虫を人間の身体のサイズに引き伸ばし、その異様なまでの存在感を立体ドームで表現します。</p> 

毎週月曜日から金曜日には、上記番組を交互にお楽しみいただきます。

その他、科学の様々な分野の映像やコンピュータシミュレーションを今後の番組として予定しています。

特別展や長期休暇の期間には特別番組も検討中です。

土曜日には、午後に下記の科学ライブショー「ユニバース」を上演します。

■科学ライブショー「ユニバース」

毎週土曜日午後2回上演。各回40分程度を予定。

研究者が最先端の科学の話題を直接来館者に語り掛ける、1996年以来延べ1100回以上に渡って好評を博したライブショー。リニューアルに伴い、迫力を増しての再登場です。

<http://universe.chimons.org/>



■開発・協力

システム開発 財団法人 日本科学技術振興財団 <http://www2.jsf.or.jp/>

科学技術館 <http://www.jsf.or.jp/>

株式会社 オリハルコンテクノロジー <http://orihalcon.co.jp/>

コンテンツ提供 株式会社 オリハルコンテクノロジー <http://orihalcon.co.jp/>

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台 <http://www.nao.ac.jp/>

独立行政法人 理化学研究所 <http://www.riken.jp/>

和光研究所 基幹研究所 戒崎計算宇宙物理研究室 <http://atlas.riken.jp/>

横浜研究所 オミックス基盤研究領域 <http://www.osc.riken.jp/>

STU 研究所 <http://kohiyama.wem.sfc.keio.ac.jp/>

制作協力 バルコ株式会社 <http://www.barco.com/JP/>

有限会社 天窓工房 <http://www.skylight-studio.jp/>

立体フルデジタルドームシアター施設「シンラドーム」は、財団法人 日本宝くじ協会の助成により、宝くじの普及宣伝事業として整備されたものです。